

株式会社 デンタル タイアップ

2024 年度 歯科医院合同セミナー

今こそチーム一丸で対応しよう！

Seminar Report - セミナーレポート -

日時 2024 年 7 月 21 日 (日) AM 9:30~PM 13:00

Seminar Report

Zoom 発信地 株式会社デンタルタイアップ（広島県広島市中区榎町 5-20）

▶主催者講師・スタッフ（株式会社 デンタルタイアップ）

代表取締役 小原 啓子 / 局長 柘田 博昭

〔マネジメントスタッフ〕 畠山 知子・河野 佳苗・藤田 昭子・石田 眞南・杉原 未佐子・平石 美和子・宮本 麻美

〔事務局スタッフ〕 鈴藤 瞳・藤井 千恵・的川 優華・上田 恵



主旨

歯科医療を取り巻く環境は、目まぐるしく変化しています。

今、私たちに求められるのは、社会の方向性を確認し、歯科医院のあるべき未来の姿を思い描いて成長することです。

良質な情報を得る事は、これからの歯科医院経営を大きく左右していきます。

そこで、この度は、新たな取り組みのある令和6年度の保険改正に疑義解釈を加え、スタッフとして対応すべき事項のお伝え、また、時代の先端を行く歯科医院さんからの新たなチャレンジや、技術革新が著しい医療DX分野に精通する企業からの知見を共有頂きました。

ここに受講者の方々の声をまとめご報告申し上げます。

スケジュール	項目	主な内容・ねらい等
09:30	開演 挨拶	
09:40	第1部 自分の担当部署はこうやって請求しよう！ 2024年度の診療報酬改定の疑似解釈をふまえて スタッフが知っておくべき保険改定	<ul style="list-style-type: none"> ・口管強、外安全、外感染などの考え方 ・口腔機能管理の強化推進 ・訪問診療・技工への考え方の紹介
10:45	第2部 働く意義を考えよう！ 歯科医院におけるダイバーシティ 日本でいちばん大切にしたい会社 厚生労働大臣表彰 医療法人社団久和会 わく歯科医院 様	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方と共に働く意義 ・多様な人材を活かす仕組み ・性格、国籍、年齢、障害の有無など多様な属性や個人の価値観や発想を理解して対応することで、個人の幸せを目指す意味
11:05	第3部 必ずこの時代が来ます ペーパーフリー！ スムーズなペーパーフリー移行での成果 医療法人社団B.T.H さくら歯科 吉田 様 株式会社 ストランザ 太田 様	<ul style="list-style-type: none"> ・カルテ、業務記録、技工指示書などをデータ化 ・どのような流れで行うのか ・ツールのご提案
11:35	第4部 先生楽になります スタッフ待たなくてすみます レントゲン！ エックス線遠隔管理スイッチシステムについて MR. SWITCH 株式会社岡部 様	<ul style="list-style-type: none"> ・レントゲンスイッチの遠隔操作機器
12:00	第5部 カイゼンを確実にする方法 新ヒヤリハット・改善提案書の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット・カイゼン提案における新書式の解説
12:15	第6部 履歴書に書ける資格を持とう SRPスペシャリスト・口腔内写真スペシャリスト (資格制度あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・SRP、口腔内写真の認定資格制度について
12:30	第7部 情報共有していいところを学びあおう (治療計画予定表・業務記録を確認し合うグループワーク)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ討議 ・院の良いところを学び自院の問題点をカイゼンしよう ・治療計画予定表 ・患者への提供文書(歯管・実地指導など) ・検査資料(レントゲン・口腔内写真)の管理方法などについて

セミナー全参加者の声

第1部「自分の担当部署はこうやって請求しよう！」のご感想

大きく変わったところをキレイにまとめていただいていたので分かりやすかったです。
少し難しかったです。少しずつ覚えていきたいです。
詳しく教えていただきありがとうございました。特に、口管強のところが勉強になりました。
今まで決められた流れでリコール間隔をとっていたので、この改定を機会に患者さんに必要な処置を行って取れる点数を取っていく必要があると思いました。
すべてを網羅して端的に説明していただきありがとうございました。 改めて確認できました。
院内でも周知がありましたが、今回の保険改定の内容がよくわかりました。自分が歯科医療を行うことで発生する保険点数や、医科との連携、口腔機能低下症の検査など積極的にすすめたいと思います。
簡潔にまとめてくださってとても分かりやすかったです。
今回は「加算」が増え、把握が難しかったのが、よくわかりました。
具体的なケースの算定方法があって勉強になりました。小児のことも知りたかったのでありがたかったです。
難しい内容でしたが知れてよかったです。
改正により変更になった点などが明確になり助かりました。
特典付録の訪問の基本的な流れと保険点数の表が、分かりやすく、今までわからなかったところが、簡潔にわかり頂けて良かったです。
衛生士やスタッフに伝えて理解してもらわないといけないことがまだまだたくさんあるなと思いました。
保険改正について医院なりにたくさん勉強して必要な点数を挙げていましたがこうしてまとめて下さり説明してくださりととてもよくわかりました。
完全に理解が出来たわけではないが、仕組みは図式化されて分かりやすかったです。
資料が分かりやすかったです。しかしながら理解が難しいので各担当各所毎で落とし込んでいきます。
もっと、深くP重防の時こういうケースの場合、こういう流れで入力するなどがあればよりよかったです。
再度、見直しています。

第2部「働く意義を考えよう！」のご感想

歯科医院であっても全体で寄り添い、工夫する所で年齢や障害は関係なく、一人一人が輝いて働ける職場になり、働く人の幅がすごく広がると思いました。
障害を持つ方にも分かりやすく環境を整えて全員が働きやすい環境づくりを行う事が大切だと思いました。
簡単に出来ることではない障害者雇用、先陣をはいられていて凄いなと思いました。
障害者の方や高齢者の方の雇用などこれからの歯科において大切だと思いました。

障害者の方と共に働くことをイメージすらしたことがなかったのですが、このような働き方をすることは自分の仕事だけではなく、私生活における視野も広がるなと思いました。

ただ、外を歩いているだけでも、人を見て何か自分に出来る出来ないかと考えることが出来るなと思いました。

和久先生 わく歯科医院のすごさを改めて実感しました。

組織はリーダーの姿勢がすべてですね。

障がいのある方の雇用をされていることを知って驚きました。ハンデのある方が働きやすい工夫をされており、みなさんがいきいきとしている姿が印象に残りました。素晴らしい歯科医院があるのだと感動しました。

素敵な医院だと思いました。

本当に素晴らしい取り組みで頭が下がる想いです。

素晴らしいご講演ありがとうございました。わく歯科の院長先生やマネージャーさんのスタッフの思いが強く伝わり、障害者の方の働く工夫に繋がると思いました。障害のあるなしに関わらず、スタッフの特性を理解して行程を人に合わせるって大事だと思います。

他の医院さんのやり方などが知ることができてよかったです。

いろいろな工夫をされておられ、歯科医院では不可能かと思っていましたが、障害を持っておられる方も、生き生きと働ける職場で、優しい職場だと思いました。

雇用の在り方について考えさせられました。あわせて業務をもっと単純化しないといけないと思いました。

同じ兵庫県でもすごく活発的な取り組みをされていて人にあったシステムづくりがなされていることに驚きました。人材育成にもとても熱心に取り組んでいらっしゃるのが印象的でした。

五感をつかい働きやすい環境を作っているのが素敵だと感じた。

模範的なクリニックを聞かせていただいて参考になりました。

第3部「必ずこの時代が来ます ペーパーフリー！」のご感想

電子化が進む中で当院ではまだまだ紙も使っているので、実際している医院さんのお話で参考になりました。

デジタルカルテに移行するのは大変そうですが、後のこと考えるとやっておくべきかなと感じました。

メリットデメリットがある事が分かりました。

当院でもぜひ取り入れたいと思います。休憩時間にこれから具体的に進めていこうとスタッフと話し合ったところでした。

現に、電話対応をした際にカルテを持って来るために患者さんに待ってもらう時間や、探してもない時に取り敢えずでアポを取って、あとから見たら担当衛生士が被っている、などのミスもあるので、そういった事がなくなるなと思いました。

導入検討中で 実際に導入された医院様のお話を聞くことができとても参考になりました。

業務記録をデータ化した際の保存期間はペーパーの時と同じですか。

増えていくサブカルテを電子化した経緯がよくわかりました。具体的なお話で、今後必要になってくるものだと思います。お話を聞いてよかったです。

敷居は思ったよりも高くなさそうでした。5Sにも繋がることであり、検討したいです。

多大なヒントをいただきました ありがとうございました

凄く興味を持ちました！スキャンの行程はとても労力が要りますが、準備期間を長くすることで負担を減らせるのかと思いました。効率化は確実にできると思います！

電子カルテの良さが分かり、いずれ当院もペーパーフリーになればいいとおもいました。

完全にペーパーフリーへの移行の大変さを感じるとともにいずれはしないといけない流れだなとも思いました。ペーパーレス化にするまで費用や労力がかかってしまいますが、受付さんがカルテを探し回ったりカルテのチェックがすぐにできなかつたりがあるのでペーパーレスになればそういう点で効率よく仕事できると感じました。説明がわかりやすく聞きやすかったです。当院もストランザですので以前からペーパーレスは視野に入れていましたので熟慮致します。ペーパーフリーの重要性を再確認できました。ただ、アナログに勝るデジタルはないと考えます。導入までの流れは大変参考になりました。いつかはやらないといけないのですが、まだ、周囲の環境が整いません。今後の参考にさせていただきます。

第4部「先生楽になります スタッフ待たなくて済みます レントゲン！」のご感想

Dr.と衛生士の立場をお互い尊敬し合い、その中で責任を持って仕事をし、その中でも工夫していく方が重要だと思いました。衛生士のレントゲン撮影、軽い気持ちですると大変なことになるんだと知れました。衛生士の業務についてしっかり把握することが大切と思いました。全員に周知していきたいと思います。先生が処置中はレントゲン撮影待ちの時間があるのでいいと思いました。当院でもレントゲンボタンをDrに押しに来てもらうことが大変であると話題にでていたところでした。遠隔操作ができるとすごくいいなと思います。Drが手をとめずに済みます。参考になりました。歯科衛生士の業務範囲が拡大されることは良いことだと思う。関連学会と協力して良い方向に向かうことに期待します。法令遵守を改めて肝に銘じて取り組んでまいります。遠隔スイッチの発想はとても効率的と思いました。先生もいつも席を立たれて、大変そうです。すごく当院にも導入したいと思いました。歯科医師が一人しかいない時間帯などでは必要性を感じます。X線遠隔スイッチのシステムを導入出来たらいいなと思っておりましたがしっかりとした設備の中で安心して使用できることを知れてよかったです。現実を見る内容でした。法令遵守をします。活用したいが、高い。キャッシュフローが安定したら検討する。

第5部「カイゼンを確実にする方法」のご感想

誰にでも起きることなので起こったことをしっかり改善していく大切さが改めて分かりました。ヒヤリハット書くことは悪いことじゃなく意見交換のためにも書いていくべきだと思いました。ヒヤリハットの記入はいつも難しいので大変ためになりました。日々の診療でのヒヤリハットを、【ヒヤリハット】として自分自身が捉えていなくて、何気なくやり過ごしていた事が多すぎると思いました。重大なミスに繋がる前に常に意識をし、改善に努めたいと思いました。日々活用すれば医院がどんどん良くなりますね。

どの部分に対して改善を行うかが明確になると思いました。当院でも取り入れたいです。
医療安全管理の担当者です。まだまだ改善が必要だなと日々感じます。新人、若者の声にしっかり耳を傾ける、否定をしないこと。忘れていたかもと反省しました。
参考になりました。
改善のために行うといった意識が大切だと感じました。
新しい用紙について、今回受講できなかったスタッフに対して、次回ご訪問の際にぜひ直接ご指導願います。
理解して今後に活用していきます。
ヒヤリハット報告をあげた後の情報共有、改善にまで当院はまだ至っていないと改めて思いました。
当院も物がなくなると夕方でも朝でも全部を探します。その時間や手間が月に数回起こると作業効率がとても悪くなります。紛失しやすいタイミングなどをみんなで考え取り組んでいきたいと思いました。
新しくなり曖昧さがなくなったと思います。是非明日から活用させていただきます。
用紙を改め、こちらを活用していきます。

第6部「履歴書に書ける資格を持つ」とのご感想

今のままで満足せずに自分がスキルアップすることで患者さんへの安心感、信頼関係にも繋がるので自分も挑戦しようと思います。
機会があれば挑戦できたら良いなと思いました。
歯科衛生士が取得できる資格の表をもっと大きく見せていただきたかったです。
キャリアを漠然とすら意識したことがなく、ただ毎日を過ごしてきたなと思いました。
目的をもって生きることって素晴らしいですね
自分自身のスキルアップはすごく大切だと思いました。お話をしている河野さんがきらきらして見えました。ぜひ挑戦したいと思います。
参考になりました。
キャリア形成はチームで実行できると良いと感じた。
皆がキャリアアップを目指す職場になってほしいです。
スキルアップの努力は常にしようと思います。
SRPのスキルを上げて、口腔内写真も短時間でとれるよう当院でもスキルアップが必要です。
まだ資格が何もないのでこの資格を取れることで自分自身の自信につながれたらと思います。患者さんにも安心してご来院いただけるように取り組みたい位と思います。
自分の人生をプロデュースしたいと思いました。

第7部「情報共有していいところを学びあおう」とのご感想

他医院の意見を聞く機会は少ないのでとても参考になりました。
他の医院の話が聞けたのがよかったです。
他院さんのお話を聞いて同じ悩みがあるんだなと思いました。
情報共有ができていい時間でした。ありがとうございました。
他院のやり方や、真似したい所が分かって良かったです😊

進歩的な他の先生に直接お聞きできたことはとてもよかったのですが、システム上の問題か途中で2度ばかり中断してしまったのは残念でした。事前に司会役を決めていた方が良かったのでは・・・

他院さんの様子をうかがうことができました。困っていることや順調なことなど、なかなか他院の方と話す機会がないので、すごくいい機会となりました。

予めグループを組む方の情報が欲しいです。資料から相手の方のページを探すのに時間がかかってしまいました。

他の医院の情報が知れて参考になりました。

一番良かったと感じました。セミナー内での話を聞くことが良い動機づけになりました。

各医院さんの取り組みをうかがえて参考になりました。

口腔機能発達不全症の他院の話が聞けてありがたかったです。

他の医院さんのやり方などを共有できていい機会でした。

今回、小児歯科の方でしたので、訪問の方がおられたら、良かったのですが、小児の発達不全の話が聞けて良かったです。時間が足りないくらいでした。

さくら歯科の吉村先生に入ってください、いろいろお話を聞きましたので良かったです。

他院の先輩方が悩んでいること改善しようとしていることを知って自分の医院でも悩んでらっしゃる先輩方がいるのかもしれないと気づきました。今までは新人扱いで仕事をしていましたが先輩方にも歩み寄れるようになりたいと思いました。口腔機能検査にもっと取り組んでいこうと思いました。

悩みはみんな同じで情報も共有できました。

とても参考になり、今後してほしいです。

若い先生方と意見交換できて良かったです。

全体のご感想

診療報酬改定は分かりやすい説明でより理解が深まりました。わく歯科医院さんの発表も素晴らしく多様な取り組みに感動しました。グループワークにおいても他院の貴重な意見を聞く事ができました明日からの課題ができました。本日はありがとうございました。

どの内容も自分の医院でどう考え、取り入れていくかを考えるいい学びになりました。

同じ関西の医院でのグループワークも訪問や小児について色々なやり方を聞くことができ、勉強になりました。

今知りたいことを全て分かりやすくまとめていただいでいて、明日からの診療にすぐ生かせるように頑張ります。

貴重なお話をありがとうございました。

他院のカルテの資料を見ることができて貴重でした。さくら歯科さまのペーパーフリー化の道のり、問題点や業者の選び方、費用内訳など、細かなことが知れたのが印象的でした。貴重なお時間をありがとうございました。

勤めてくれるスタッフがやりがいを持ち、人間的に成長できる歯科医院に出来ないものかと思い、今回のセミナーにまず参加させて頂きました。診療が忙しいと言い訳にして、決められていることをせずに、またスタッフにやらせずにこれまでやってきましたが、今回のセミナーでやらないといけないことはやるように少しずつ改善していこうと思います。ありがとうございました。

入社したばかりで診療報酬に関して理解が追いつかない部分があったので基礎からスキルアップをしていこうと思います。

入社間もない頃にこのようなセミナーを受けさせて頂きありがとうございました。まだまだ勉強不足だなと感じる点が沢山あったとともに、新しい知識を学ぶことができて良かったです。また、同じ職種の他医院さんの方と治療計画予定の事や業務内容について話すことができ良かったです。

今後の疑義解釈もしっかり確認していこうと思いました。また、全てをデータ化するのはすごく大変だと思います。今後やっていくことになると思うので参考にさせていただきます。エックス線撮影はどこ歯医者でも一度は話し合いが行われる内容だと思います。今回の遠隔スイッチは導入できたら診療自体ももう少しやりやすくなるのではと思いました。ヒヤリハットの用紙を書き始めてからヒヤリハットに目がいくようになりました。これからも意識していきたいと思います。

わく歯科さんで障害者の雇用も積極的に行われているということに驚きと感動をいたしました。当医院でも分院やペーパーレス化の話が出ていますので、今回得た情報を院内で共有し活用させていただきたいと思いました。ありがとうございました。

医院だけでは偏った考えになりがちですが他の医院と交流し新しい情報を共有しあうことで視野が広がりました。

電子カルテの話が聞けてとても参考になりました。

きちんと計画を立てて行っていきたいです。

診療報酬の図もわかりやすく診療時に参考にしていきたいです。

自分達の医院のやるべき事を、可能なペースで進めていきたいと感じました。

本日はありがとうございました。

特に第一部の診療報酬改定についてはまだ不明な点が多いので、講義を聞いて多少の流れや点数の取り方がわかりました。ペーパーレス化の取り組みはスキニングが9大変だと思いますが、場所の確保や時間の有効活用になるので利用してみたいと思いました。最後の他医院さんとの情報共有はとても参考になりました。あっという間に時間が過ぎたので、もう少し時間があっても嬉しかったです。

このような機会を作ってください、ありがとうございました。

たくさんの方を学ばせていただきありがとうございました。

DX化やさまざまな人材を取り入れていくにも、5Sの徹底が必須と感じました。

診療報酬算定の方法を理解していなかったため、新たな算定方法を理解するのは難しかったです。

お世話になりありがとうございました。

明日からの診療に大いに役立つことばかりでまた一歩前に進めます。

継続管理の仕方で、大人と小児、初診月からの流れがとても理解し易かったです。

ペーパーフリーのさくら歯科さんの発表も、導入の流れがとてもよく分かり、参考にしたいなと思いました。ありがとうございました。

他の医院さん達の使用されている資料を拝見できて参考になりました。

この度は貴重なお時間をありがとうございました。保険改定に関しましては、いただいた資料で再度確認し理解を深めたいと思います。歯科業界の流れや、他の医院さんのお話を聞く機会はなかなかございませんので、大変興味深く有意義な時間を過ごさせていただきました。

特に他院さんの取り組みについてうかがえたことは、今後の業務に活かしていきたいと思います。

本日は大変貴重なセミナーに参加させていただき、ありがとうございました。

保険改定があり、日々の診療のなかでの疑問点を、再度確認することができました。

当院はペーパーレス化に向けての取り組みを行っている途中なので、今回のセミナーで学んだことを参考にさせていただきたいと思います。

これから改善、新たなことに挑戦して、誰しものが働きやすい環境づくりを目指していきたいと思います。

本日はありがとうございました。参加することができてよかったです。

さっそく医院に持ち帰り、院長はじめスタッフのみんなに報告したいと思います。

他院の方々の取り組みや保険の話、レントゲンについてなどたくさんの方を学ぶことができました。

保険だけの講義があればぜひまた参加したいです。

セミナーに参加することで勉強になりました。

いろいろな歯科の方と交流できてよかったです。

診療報酬改定や低下症、不全症の知識の再確認ができて勉強になりました。

レントゲンの遠隔操作のスイッチがあることや、履歴書に書ける資格を取得出来ることなど、新しい情報も聞けたので良かったです。

障害のある方を雇っている歯科医院があるのも初めて知りましたし、他院の間診票を見ることが出来たり、直接話すことにより自院との違いを感じられてすごく刺激になりました。

今日は貴重な講演ありがとうございました。

最後のセミナー参加者の情報共有がよかったです。

短時間に盛りだくさんの内容のお話をうかがえて、大変ありがたかったです。

他の医院さんのお話も聞けてとても良かったです。

保険改正点がわかりやすく表になっていて理解しやすかったです。

各医院さんとも情報共有できてよかったです。

診療改定の算定が理解出来ていない部分も多かったのですが、大変分かりやすい講義を聴けて理解が深まりました。他の医院のスタッフさんのお話も聞けて、今後カルテの内容も良いところを真似して導入して行きたいと思います。ありがとうございました。

初めての参加でしたが、とても勉強になりました。ご準備やご講演されたスタッフの皆様ありがとうございました。明日からの診療に活かしてまいります。

セミナーに参加して自分が知らなかったことが学べてよかったです。

今年度の保険改正による変更点を確認させて頂きたくて参加させて頂きましたが、わく歯科さんの取り組みや、さくら歯科さんのペーパーレス化の方法など勉強になりました。

他院の間診票等の資料の使い方を聞いたり見たりすることができ、今後の参考にさせていただける情報を入手できました。保険点数は、入力したことがなく理解しきれていないので、勉強していきたいと思います。ありがとうございました。

初めての参加で、不安でしたが、有意義な時間でした。

他の方とお話することで、勉強不足だと実感したことが良かったと思います。

カルテ電子化に興味があり参加させて頂きましたが、実際の取り組みやスケジュール等が分かり、より具体的にイメージが沸きました。同じモリタのレセコンから電子化に取り組みられたとのことですので、今後具体的に検討を進めるにあたり、また参考にさせていただきたく存じます。

短い時間でしたが充実した内容でよかったです。これからもいろいろ取り組んでいかないといけないことがたくさんあります。今後ともよろしく願いいたします。

他医院での取り組みを知ることが出来てとても参考になりました。

今回たくさん情報やお話を聞かせていただいて、とても勉強になりましたし、自分たちの医院にも取り入れていけることは取り入れていきたいと思いました。

勉強の機会を設けていただきありがとうございました。

いろいろ情報を得ることができたのでよかったです

保険改正の部分はとても情報量が多く、是非各部署のスタッフに聞いてほしかった内容でした。保険の入力に関して知識が少ないことが明確になったので、改善して行きたいと思います。また、ヒヤリハットに関して、新しく追加の項目の部分がより具体的な解決策を導くフォーマットにして頂いたので、是非活用したいと思いました。当院では頂いた資料をオリジナルに作り変えたりして余計に混乱が招いていることが多いので、この度特典付録のフォーマットをそのまま活用できるよう提案したいと思います。ペーパーレス化に関しても、まずはカルテの5Sがで

Seminar Report

きていること、そして導入するにも計画性が大切であることを十分に理解できたので、貴重な情報をいただけて嬉しいです。今回スキルチャレンジへの申し込みができていなかったのですが、このセミナーを受けて、是非次回はチャレンジしたいと思いました。ありがとうございました。

本当にいつも素晴らしいフォーラムです。準備等大変だったと思います。

保険の大切な部分を抑えていただき感謝しております。とても有意義な時間を過ごせました。明日からも頑張ります！

他院の内容を聞けるグループワークがとても有意義な時間を過ごせました。こういう時間をもっとつくってほしい。

分かり易く、今知りたいことが知れて検討することが出来そうです。ありがとうございました。

貴重なお時間いただきありがとうございましたどれも今後の参考とさせていただきます。

いろいろな面で刺激を受けました。承継予定なので、とりあえず現状維持かなあ？と思っていましたが、少しでも前に進めます。

皆様からのご質問・回答

No.	項目	内容
1	質問	エナメル質初期う蝕加算は歯管との同日でなくてよいのでしょうか
	回答	エナメル質初期う蝕加算は、歯管の加算ではありません。Ce 管の口管強加算となりましたので同日の必要はありません。
2	質問	口腔機能にかける時間(メンテナンス時)について
	回答	<p>小児：とみもと歯科医院さんより メンテナンス内容 30 分を 45 分にして口腔機能の検査やトレーニングを実施管理されています。</p> <p>内訳例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内写真撮影/・P 検査 5 分 ・TBI 8 分 ・歯清 (PMTC) 8 分 ・フッ素 5 分 (・シーラント 5 分) ・Dr. チェック 5 分 ・口唇閉鎖力検査、舌圧検査 5 分 ・トレーニング 4 分 <p>本格的なトレーニングは自費で対応</p> <p>高齢者低下症：藤岡歯科医院さんより 通常のメンテナンスに 10 分追加で説明をするため 60 分で対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20 歯未満や症状のある方の説明して、次回来院時に検査 ・口腔衛生・口腔乾燥、舌圧検査全てで 6 分 ・あいうべ体操 3 分 <p>すべての検査は 1 回でせずに、低下症診断になった方や希望者に他の検査をする。 現在は検査等に患者さんも慣れてきているので 50 分枠で対応しています。</p>
3	質問	初診時に口腔機能低下症検査を行っていないのに口腔機能指導加算を行っても良いのでしょうか
	回答	口腔機能の低下を来している患者に対して行いますので検査を行う必要があります。 また検査の結果、低下症の確定診断に至らなかった場合でも「口腔機能管理中」で算定できます。
4	質問	産婦人科との連携強化は具体的にどのように診療情報をやりとりすればよいのでしょうか
	回答	<p>具体的な診療情報のやり取りは、産婦人科と歯科の間で以下のような情報を共有することを指します。</p> <p>① 妊婦の健康状態に関する情報 妊娠週数、妊娠経過、出産予定日 妊娠中の合併症（高血圧、糖尿病、貧血など）の有無 投薬内容（薬剤の種類や投与量）</p> <p>② 口腔内の健康状態 歯周病や虫歯の状況 口腔内の炎症や感染症の有無 歯科治療の必要性や治療計画</p> <p>③ 治療に関する情報 妊婦が歯科で受けている治療内容とその進行状況 治療に使用される薬剤や麻酔の情報 治療における注意事項（例えば、妊娠中に避けるべき処置など）</p> <p>④ 健康管理に関するアドバイス 妊娠中の口腔ケアに関する指導内容 妊婦が守るべき生活習慣（食事、ブラッシング方法など）</p>

		<p>⑤ フォローアップの計画 定期的な健診や検診のスケジュール 出産後の口腔ケア計画 妊婦が必要とする他の医療機関との連携</p> <p>これらの情報を適切に共有することで、産婦人科と歯科は協力して妊婦の健康管理を行い、妊娠期間中および出産後の母子の健康をサポートすることができます。</p>																																													
5	<p>質問 産婦人科が歯科医院へ期待していることはどのようなことでしょうか。</p> <p>回答</p>	<p>連携強化診療情報提供料において、産婦人科が歯科に期待していることは以下の点です。</p> <p>① 口腔衛生の向上 妊婦の口腔衛生状態は妊娠の進行や出産に影響を与えるため、定期的な歯科健診やクリーニングを通じて、虫歯や歯周病などのリスクを低減させることが期待されます。</p> <p>② 妊娠期間中の口腔ケアのアドバイス 妊娠中はホルモンの変化により歯肉炎や歯周病のリスクが高まるため、妊婦に対する適切な口腔ケアのアドバイスや指導が重要です。</p> <p>③ 全身の健康管理 歯科医が口腔の健康状態を管理することで、全身の健康管理にも寄与します。特に、口腔内の感染症が全身に悪影響を及ぼすことを防ぐ役割が期待されます。</p> <p>④ 母子の健康への配慮 妊娠中および出産後の母子の健康に対する配慮を含め、口腔ケアを通じて母子の健康をサポートすることが求められます。</p> <p>産婦人科が歯科に期待しているのは、妊婦の口腔および全身の健康を維持し、安心して出産を迎えられるようにするためのサポートです。</p>																																													
6	<p>質問 業務記録をデータ化した場合の保管期間はペーパーの時と同じでしょうか。</p> <p>回答</p>	<p>同じです。保管義務期間に変わりはありません。</p> <table border="1" data-bbox="363 1361 1337 2056"> <thead> <tr> <th>書類名</th> <th>保存</th> <th>根拠条文</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カルテ</td> <td>5年間</td> <td>歯科医師法 第23条</td> </tr> <tr> <td>療養の担当に関する帳簿、書類その他の記録</td> <td>3年間</td> <td>保険医療機関及び保健医療担当規則第9条</td> </tr> <tr> <td>病院日誌・各科診療日誌</td> <td rowspan="4">2年間</td> <td rowspan="4">医療法 第21条</td> </tr> <tr> <td>手術記録</td> </tr> <tr> <td>検査所見記録</td> </tr> <tr> <td>エックス線写真</td> </tr> <tr> <td>入院患者・外来患者の数を明らかにする帳簿</td> <td>2年間</td> <td>医療法 第21条</td> </tr> <tr> <td>エックス線装置の測定結果記録</td> <td>5年間</td> <td>医療法施行規則第30条の21</td> </tr> <tr> <td>放射線障害が発生するおそれのある場所の測定結果記録</td> <td>5年間</td> <td>医療法施行規則第30条の22</td> </tr> <tr> <td>エックス線装置等の使用時間に関する帳簿</td> <td>2年間</td> <td>医療法施行規則第30条の23</td> </tr> <tr> <td>助産録</td> <td>5年間</td> <td>保健師・助産師・看護師法第42条</td> </tr> <tr> <td>救急救命処置録</td> <td>5年間</td> <td>救急救命士法第46条</td> </tr> <tr> <td>歯科技工指示書</td> <td>2年間</td> <td>歯科技工士法第18条</td> </tr> <tr> <td>歯科衛生士の記録</td> <td>3年間</td> <td>歯科衛生士法施行規則第18条</td> </tr> <tr> <td>調剤済み処方箋</td> <td>3年間</td> <td>保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則第5条</td> </tr> <tr> <td>調剤録</td> <td>3年間</td> <td>保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則第10条</td> </tr> </tbody> </table>	書類名	保存	根拠条文	カルテ	5年間	歯科医師法 第23条	療養の担当に関する帳簿、書類その他の記録	3年間	保険医療機関及び保健医療担当規則第9条	病院日誌・各科診療日誌	2年間	医療法 第21条	手術記録	検査所見記録	エックス線写真	入院患者・外来患者の数を明らかにする帳簿	2年間	医療法 第21条	エックス線装置の測定結果記録	5年間	医療法施行規則第30条の21	放射線障害が発生するおそれのある場所の測定結果記録	5年間	医療法施行規則第30条の22	エックス線装置等の使用時間に関する帳簿	2年間	医療法施行規則第30条の23	助産録	5年間	保健師・助産師・看護師法第42条	救急救命処置録	5年間	救急救命士法第46条	歯科技工指示書	2年間	歯科技工士法第18条	歯科衛生士の記録	3年間	歯科衛生士法施行規則第18条	調剤済み処方箋	3年間	保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則第5条	調剤録	3年間	保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則第10条
書類名	保存	根拠条文																																													
カルテ	5年間	歯科医師法 第23条																																													
療養の担当に関する帳簿、書類その他の記録	3年間	保険医療機関及び保健医療担当規則第9条																																													
病院日誌・各科診療日誌	2年間	医療法 第21条																																													
手術記録																																															
検査所見記録																																															
エックス線写真																																															
入院患者・外来患者の数を明らかにする帳簿	2年間	医療法 第21条																																													
エックス線装置の測定結果記録	5年間	医療法施行規則第30条の21																																													
放射線障害が発生するおそれのある場所の測定結果記録	5年間	医療法施行規則第30条の22																																													
エックス線装置等の使用時間に関する帳簿	2年間	医療法施行規則第30条の23																																													
助産録	5年間	保健師・助産師・看護師法第42条																																													
救急救命処置録	5年間	救急救命士法第46条																																													
歯科技工指示書	2年間	歯科技工士法第18条																																													
歯科衛生士の記録	3年間	歯科衛生士法施行規則第18条																																													
調剤済み処方箋	3年間	保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則第5条																																													
調剤録	3年間	保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則第10条																																													

7	質問	<p>ペーパーフリー化への移行にかかった費用の内訳をお聞きしたいです。</p>
8	質問	<p>歯科技工士連携加算 2 で用いる情報通信機器を具体的に教えて欲しいです。</p>
7	回答	<p>総額は約 170 万円</p> <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総額は約 170 万円程度 <p>内訳 (2022 年当時の時価です)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PDF 化の業者支払い 100 万円 5000 冊 (ユウトハンズ) ・ 内製化で 10 万円 スキャナー : PFU FI-IX1600A ホワイト ScanSnap iX1600 [ドキュメントスキャナー] 商品単価 : 45,500 円 × 2 ・ iPad が 6 台で 52 万円程度 購入商品単価 : 92,500 円 × 3 購入単価:80.990 円 × 3 ・ ネット環境と充電システム、その他 8 万程度 iPad 備品 タッチペンシル 1,573 円 × 6 急速充電器 2670 円 × 6 HDD : 9,480 円 × 2 その他周辺機器 数万円 ・ グーグル ワークスペース : 月額 1360 円 <p style="text-align: right;">さくら歯科さんよりご回答</p>
8	回答	<p>厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000516275_00006.html に準拠した体制であることと、示されております。</p> <p>歯科医院として患者さんの個人情報を扱っています。 ガイドラインではシステムにおけるセキュリティ対策やプライバシーに配慮した情報の取り扱いを求めています。具体的には責任者を置き、アクセスは適切に制御 (2 段階認証の活用)、機器の持ち出し等の方針を設ける、サイバー攻撃などへの対応、バックアップ、といった内容の対応が必要です。 また個人の情報通信機器 (スマホなど) 使用も原則禁止となっています。 情報通信機器として使用しようとする端末はスマートフォンやタブレット、PC といった機器になると思いますが、 医院の機器を使用した場合においても SNS やメールでのやり取りではガイドラインの要件を満たさない可能性があります。 連携する技工所さんでガイドライン要件を満たすプラットフォームを使用されている場合、 同じシステムを導入いただくのもひとつの方法かと思っておりますので、ご相談いただきご検討ください。</p>

第1部、継続管理の6歳未満の長期継続管理の保険算定例スライドについて、6歳未満の保険点数をお詫びして訂正します。(訂正箇所を赤字にしています)

乳幼児期	6歳未満 長期継続管理 シーラント		
	処置項目	口管強	口管強なし
	再診 (乳)加算 外安全 外感染+明細	58+40+2+2+1	58+40+2+2+1
	歯管(継続) 文書 長期(口管強)	100+10+120	100+10+100
	実地指(文書) 口腔機能指導加算	80+10	80+10
	シーラント 1歯	212	212
	F局Ce Ce管理 口管強加算	150+30+48	150+30
	P混合歯列期検査	80	80
	P画像説明(5枚) 10×5	50	50
	歯清	108	108
	合 計	1101点	1033点
	小機能 口管強加算 歯リハ3	60+50+50	60+50
	口唇閉鎖力検査	100	100
	舌圧検査	140	140
	合 計	1501点	1383点

私達は、かかわる全ての方々と共に生きる喜びを創造します

Dental Tie-Up
©株式会社 デンタルタイアップ 複写厳禁